

平成29年度 門川町立門川小学校 自己評価書

学校の教育目標「自ら学び 心豊かに たくましく生きる 子どもの育成」

重点目標〔 1 基礎学力の定着 2 基本的な学習習慣の定着 3 読書活動の推進 4 基本的な生活習慣の定着 5 学校・家庭・地域が連携した教育の推進 〕

〔 4段階評価： 4～期待以上 3～ほぼ期待通り 2～やや期待を下回る 1～改善を要する 〕

重点目標	目標達成のための手段(評価指標)	具体的な取組・手立て	数値目標等		分析・考察・改善策等	
			評価指標	総合		
1 基礎学力の定着	(1) 分かる・できる授業の充実	① 特別支援教育の視点を取り入れた学習環境や授業づくりの推進 ----- ② 「かどがわ5段階授業モデル」の確実な実施	* CRT (標準学力検査) ・平均得点率の全国平均との差(点) [目標値]国語±0・算数±0 H29: 国語△-2.7・算数○1.7 (H28: 国-2.8・算-0.4) ・評定1出現率(%) [目標値]国語10.0%以内・算数10.0%以内 H29: 国語△10.2%・算数△10.5% (H28: 国11.5%・算13.0%)	2	○ これまでの授業改善や補充指導の取組等により、CRTにおいては、国語は目標値には至らなかったものの、上向きの傾向にある。算数においては、前年度より2.1ポイント上昇し、全国平均を1.7ポイント超えた。また、下位層の割合も減少傾向にある。これまでの取組を今後も継続するとともに、内容の充実を図っていく。 △ 授業における学習態度指導の徹底及び家庭学習の習慣化と内容の充実については、児童の意識も向上しているが、まだまだ十分ではない。一層の定着を目指して、今後も取り組んでいく。	
	(2) 学習内容の定着を図るための補充指導の充実	① 「パワーアップタイム」における補充指導の充実 ----- ② 学期末補充学習・「サマースクール」の充実	◇ パワーアップタイムにおける複数の教員による指導 進級式算数の問題の整備 ◇ 1学級における複数の教員による指導 門川高校生の協力 → 児童の意欲の向上・キャリア教育	3		
2 基本的な学習習慣の定着	(3) 基本的な学習習慣の定着	① 授業における学習態度指導の徹底(聞く態度、姿勢、学習の準備)	* 児童自己評価「ほぼ毎時間しっかり聞いている」 [目標値]95%以上 → H29: △94.7% (H28: 92.4%)	2		
		② 家庭学習の習慣化と内容の充実	* 児童自己評価「宿題・宅習：ほぼ毎日提出している」 [目標値]95%以上 → H29: △93.7% (H28: 93.4%)			
3 読書活動の推進	(4) 読書活動の推進	① 学校における読書活動の充実 ----- ② 家庭における読書の推進	* 1か月の読書冊数[目標値]25冊以上 H29: ○29.5冊 (H28: 22.3冊) * 1年間の年間貸出冊数[目標値]30冊以上 H29: ○38.7冊 (H28: 26.6冊)	3	3	○ 児童の委員会や読み聞かせボランティアの活動等により、読書冊数が増えてきた。図書室の利用もさらに推進していく。
4 基本的な生活習慣の定着	(5) 学校における基本的な生活習慣の定着	① 率先あいさつ・廊下歩行・整とん・無言清掃の指導の徹底	* 児童自己評価「ほぼしっかりとやっている」[目標値]85%以上 ・あいさつ: ○89.4%・ろう下歩行: ○86.0% ・無言清掃: ○90.1%・整とん(くつ箱): ○96.9% ・整とん(トイレスリッパ): ○89.6%	2	2	○ 教師の指導や委員会の呼びかけ等により、児童の意識が向上してきた。しかしまだまだ十分な定着がなされていない状況であり、日常指導や児童による委員会活動を連携させながら、充実を図っていく。 ○ 4月に新たに児童の目標を記入する「子どもの成長を支え育む“かどがわ4か条”」のポスターを全家庭に配付した。目標値までには至らなかったが、昨年度の数値を上回った。今後もPTAと連携しながら保護者の啓発を図っていく。 ○ 夏休み中のラジオ体操については、参加者が増えてきているが、さらにPTAや地域とも連携した取組を行っていきたい。
	(6) 家庭における基本的な生活習慣の定着	① 家庭との連携による取組の推進 メディアコントロール・睡眠時間の確保(早起・早寝)・望ましい食生活習慣(献)等	◇ 町PTA研修大会における講演(外山興子氏) ◇ 保健だより・参観日等での啓発 ◇ 生活リズムカードの配付・回収			
5 学校・家庭・地域が連携した教育の推進	(7) 家庭における共通実践事項の取組の推進	① 家庭における共通実践事項の取組の推進～子どもの成長を支え育む“かどがわ4か条”～ ----- ② PTA活動のとの連携による取組の推進(ラジオ体操の推進、家庭教育学級の開催等)	* 家庭における共通実践事項の家庭自己評価 ・メディアに関する約束の設定「設定している」 [目標値]全校80%以上 → △72.3% (H28: 70.2%) ・家庭学習の見守りの実践「いつも・時々確認する」 [目標値]全校90%以上 → △88.5% (H28: 88.6%) ・家読の時間の設定「設定(週3～月1)している」 [目標値]全校60%以上 → △57.7% (H28: 55.1%)	2	2	
校長所見	本年度は、これまでの取組を継続しながら、その内容の改善・充実に努めてきた。徐々にではあるが、児童の意識も高くなってきている。しかし、十分な成果はまだ得られていない。来年度は、本年度の反省を活かし、より一層、指導の徹底を図るとともに家庭との連携の充実に努めていきたい。					

